



第71号

令和2年3月1日発行

発行
広島県立障害者
リハビリテーションセンター
あけぼの
〒739-0036
東広島市西条町田口 295-3
TEL (082) 425-1455

印刷所
ワークホーム 聖恵
竹原市忠海中町三丁目 16 番 1 号
TEL (0846) 26-1002

歩々是道場

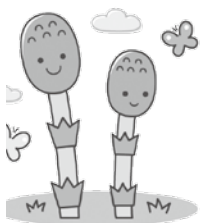
あけぼの長 高橋 正

当施設では、入所利用者や通所利用者に対する事業として、機能訓練、生活訓練（基礎グループと適応グループの2グループ制）、就労移行支援を行っています。

事業内容について担当者から説明を受けた際、訓練室での活動プログラムに限らず、会議室の清掃、所内の古紙、アルミ缶及び段ボール資源の回収、様々な行事等の準備への参加など多様な作業場面を通じて訓練を行っているとの説明を受けました。その説明から、以前聞いた

お寺での修行経験の話を思い出しました。お話では修行とは、心、体、習慣の基本を学び、習慣を身につけることで、生活の形を作るとお話されたように記憶しています。たしかに、禅仏教においては、洗面、掃除、入浴、就寝など、誰でも日々行っている何でもない行為こそ仏道修行とも言われています。当施設でも、民間業者から請け負った部品の組み付けなどの軽作業のみならず、例えば清掃作業では自分の行う業務だけでなく、全体を俯瞰して見ることを促し、拭き残しや作業ムラ等を

確認することで、より精度の高い作業を目指しています。また、場所や内容を変えることに留まらず、挨拶や作業態度等の助言を行い、今後の生活の形を作り就労移行できるよう支援しています。事業担当者の支援方法も基本的に忠実で奇をてらうようなことはしません。多くを占める高次脳機能障害のある方に対して、常に個人の状況を観察し、対応の仕方ややり方を変えながら粘り強い助言や踏み込んだ支援を行っています。事業担当者は、定められた期間の中で次のステップへの移行を踏まえた支援を行うため、大変ですが、やりがいのある業務です。あけぼのには訓練目的以外に生活介護が必要な利用者も多く入所されています。次回は生活介護の紹介をしたいと思います。



あけぼの退所者にお話を伺いました

炭本沙矢香様は平成28年8月30日から2年間、あけぼの生活訓練、施設入所支援を利用されました。現在の生活について、通所利用先を訪問しお話を伺いました。

【インタビュー】 あけぼのを退所された後、どのような生活を送っていますか。

【炭本様】 退所（平成30年8月下旬）した後、1週間ほど自宅でゆっくり過ごしました。平成30年9月2日から「巣だち広事業所」を週4日（月・火・木・金曜日）、平成30年9月5日から「ぽこ・あ・ぽこ」を週1日（水曜）利用しています。

【インタビュー】 通所先ではどのような作業をしていますか。

【炭本様】 「巣だち」ではシール貼りやシーラーがけの作業を行っています。火曜日と金曜日は肉工場で商品を並べる作業、計温、パック詰め（真空パック）などを行っています。「ぽこ・あ・ぽこ」では事務作業や軽作業、牡蠣の殻やイカの加工作業等を行っています。



【インタビュー】 あけぼのを利用して良かった、役に立っていると感じる事は何ですか。

【炭本様】 生活訓練で行っていた軽作業をもう少しやっておけば良かった。自治会活動に役員として参加したことは良い経験になったと感じています。仲間が出来ました。自分は人と関わるのが難しかったけど、自治会活動に参加して変わることができたと思います。訓練で使用していたメモリーノートは今も使っています。あけぼのの時ほど沢山書くことはないけど、必要だと思っています。

【インタビュー】 今の生活で大変な事がありますか。

【炭 本 様】 最初は通所先に通うことが大変だったけど、慣れました。朝、自然と目が覚めるようになりリズムがついたと思います。今は、大変だと思うことはありません。通所先の職員や利用者さんと良い関係で話ができるので楽しいです。作業も楽しくて充実しています。

【インタビュー】 今後の希望はありますか。

【炭 本 様】 就職したいという思いがあります。巣だちでは就労を希望する人のグループワークに参加し、仕事の心得やマナー等について話をしています。

【インタビューを終えて】

何度も「楽しい」という言葉が聞かれ、充実した様子が窺えました。目標を持って前向きに頑張っている、真面目な炭本様らしさを感じることができました。

ご協力、ありがとうございました。

**** トイレの改修工事について ****

10月から、本館と南館（詰所側）の男子トイレの改修を行っています。完成後は現在の西館（詰所側）や東館（詰所側）のトイレのように個室に扉がつく予定です。カーテンでの間仕切りから扉に換わることで、利便性だけでなくプライバシーの確保も図ります。今回は同時に2か所のトイレを工事することにより、利用者の皆様にはご不便をおかけしておりますが、完成後はより快適にトイレをご利用いただけることと思います。

今後も利用者の皆様が安心して快適に生活できる場を目指してまいります。



改修前



改修後

スポーツ大会



6月5日にお
りづるアリーナ
でスポーツ大会
を行いました。
風船バレーと、
ビーンボールと
いうボーリング

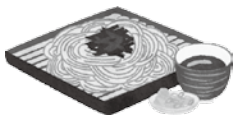
に似た種目の2種目で行いま
した。6チームに分かれて参加さ
れた利用者の皆様。ビーンボ
ールでは、力加減やコントロール
に気を付けながらピンに向かっ
てボールを転がし、風船バレー
ではチーム一丸となつて不規則
に弾む大きな風
船を繋いでいき
ました。楽しく
体を動かすこと
で笑顔あふれる
時間となりまし
た。

そば打ち



6月25日、そば打ちの実演が
行われました。そば粉を練り始
めるところから、生地を伸ばし
て切るところまで、解説付きで
見学しました。流れるような
作業で麺が出来上がる様子を
目にする、利用者の中から
は「おう」という声と共に自
然と拍手が沸き上がりました。
希望者は大きな包丁を使って生
地を切る体験ができ、大満足の
時間となりました。実演後、そ
ばは昼食として利用者に提供さ

れ、実際に
味わってい
た、だきまし
た。

オリオン
コンサート

7月13日にオリオンのお二人
にお越しいただき、食堂にてオ
リオンコンサートを開催しまし
た。利用者の皆様は、歌と演奏
に聞き入ったり、楽器に合わせ
て、楽しく簡単な振り付けを真
似しながら踊ったり、歌詞を口
ずさんだりされていました。時
折笑顔や涙も見られ、楽しんで
おられる様子でした。オリオン
のお二人は、キーボードとギ
ターで、最初から最後まで場の
雰囲気盛り上げてくださいま
した。

夏祭り



7月19日、第44回となる夏祭
りが開催されました。
当日はあいにく雨天のため屋
内での開催となりましたが、盆
踊りの後に夜店がスタートする
と、焼きそばやたこ焼きには長
い列ができており、利用者の皆
様は好きな食べ物を購入しご満
悦の様子で
した。

夏祭りの
目玉「花火」
は、幸い少
雨であった



ため打ち上げることができ、打ち上げが始まると、大きな歓声が上がり盛り上がりました。

来年は
良い天気
の中、屋
外で開催
できると
良いです
ね。



後援会行事

パフェ作り

8月10日利用者の皆様に季節を感じてもらい、ご家族、職員とのデザート作りを通じて「楽しみの時間」を過ごしていただくとうと、パフェ作りを行いました。
アイスは



4種類、トッピングは8種類用意した中から、自身でアイス2種類を選び、生クリームを絞った上にトッピングを飾り付け、ご家族、職員と出来栄を語り合いながら食べました。普段とは違う笑顔が沢山見られました。又、パフェ作り終了後、ご家族と個別懇談を行いました。



ハンドマッサージ&アニマルセラピー

10月2日広島アニマル専門学校の方があけぼのに来てくださいました。ハンドマッサージはとても丁寧で会話をしながら行ってくださり、利用者の皆様はリラックスできました。



アニマルセラピーでは小型犬が2匹と大型犬が1匹、ウサギが1羽、モルモットが1匹と多くの動物が登場しました。「かわいい」と歓声が上がりました。普段、動物とふれあう事がないのでとてもいい時間を過ごせました。小型犬のパフォーマンスもすごかったです。



後援会行事

家族参観・個別懇談会

11月2日に家族参観・個別懇談会を行いました。午前中は各訓練室を開放し、ご家族に日頃の訓練の雰囲気や作業内容・利用者の様子を見ていただきました。昼食は利用者・ご家族共に食堂で弁当を食べました。午後からは個別懇談会を行い、利用者やあけぼのに関する情報提供を行いました。利用者の日々の生活を見ていただくことで、ご家族にあけぼのの事業内容をご理解いただく良い機会となりました。



新任職員紹介



事務員
おお つか ゆ み こ
大 塚 由 美 子

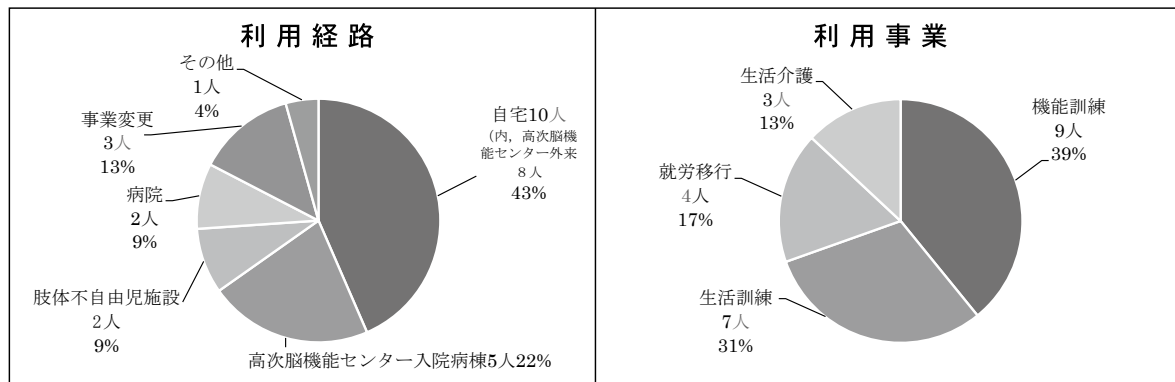
- ① 自分を動物に例えると？誰に似ている？
A：友人には犬と言われたことがあります。笑点の山田たかおに似ているかな。
- ② 趣味は？
A：マンガ・文房具・DIY
- ③ 子どもの頃の「将来の夢」は？
A：特には…
- ④ ストレスの発散方法は？
A：紙ベースで何かを作る。（カレンダーやリフィル、ゴミ出し表とか（笑））
DIY もどき。（棚やゴミ箱を作ったり、ドアを直したり・・・色々です）
- ⑤ 休日は何をしていますか？
A：漫画を読んだり掃除をしたり完全にインドア派です。家酒もします。
- ⑥ 「あけぼの」のみなさまへ一言
A：皆さんのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いします。



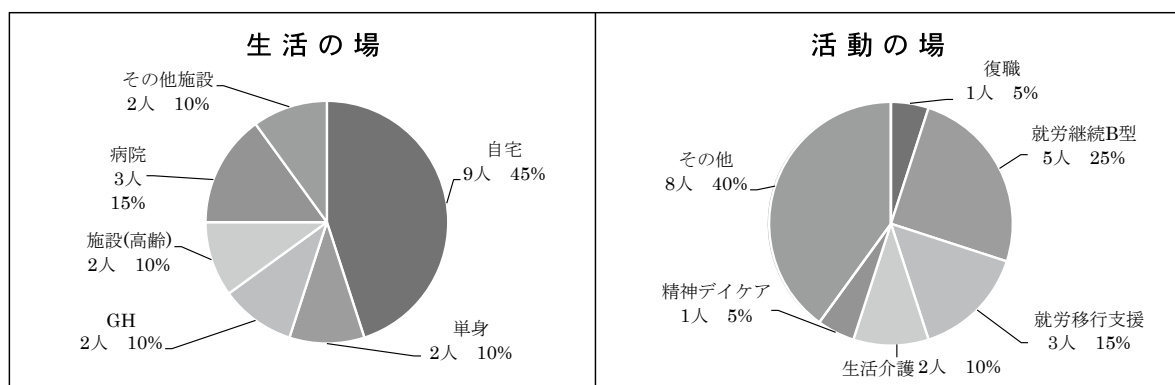
◆利用者の動き◆

（平成31年4月1日～令和2年2月29日）

《新規利用者》23名（入所16名，通所7名）



《利用終了者》20名（入所17名，通所3名）



昨年のお話になりますが、二〇一九年の初詣で引いたおみくじは、家族4人とも「大吉」でした。こんなことは初めてだったので、いい年になりそうだ！と楽しみにしていました。それぞれに試練が待っていました。夫は60歳を過ぎて変則勤務を再開、私はあけぼのに異動、長男は大学受験、次男は思春期特有の病氣と診断され…。それぞれに明るい光が見えつつ、二〇一九年も終わってしまいました。大変な一年になりましたが、家族の絆が深まったということが、「大吉」の本当の意味だったのでしょうか…。

編集後記

今回題字を書いてくださったのは、徳山智俊さんです。笑顔が素敵で周りを元気にしてくれています。創作活動では隅々まで几帳面に飾りつけをしてくださいました。徳山さんが書いてくれた「曙光」。とてもきれいですね。これからも創作活動を楽しんでいきましょう。



題字紹介